



弓削商船だより

独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1000番地 TEL 0897-77-4617 FAX 0897-77-4617
企画広報室 情報・広報係 ホームページアドレス <https://www.yuge.ac.jp>



令和4年度商船学科卒業式

目次

令和4年度入学式	1	令和4年度オープンキャンパス	8
令和4年度専攻科（海上輸送システム工学専攻）入学式	1	S5乗船実習（JMETS）	9
新任教員の紹介	2	令和4年度商船学科卒業式	10
令和4年度前期級長・副級長・学級担任一覧	2	令和4年度商船学科卒業生各賞受賞者一覧	11
学生会より	3	令和4年度商船学科卒業生就職先・進学先一覧	11
クラブ活動成績	3	尾道Cool Choiceプロジェクト「海事教室」を実施	12
学生体験談		今治市地場産業ものづくり体験講座を実施	13
アーチェリー・バスケットボール部・陸上競技部・剣道部	5	各種資格試験合格者一覧	14
留学生紹介	7	図書館 改修工事中	14
国立モンゴル科学技術大学での海外インターンシップ・国際交流	7	行事アルバム	15
チャレンジキャンパス2022	8	学生相談室紹介	15

令和4年度入学式

4月6日(水)に入学式を挙行し、本科生128名、留学生1名、専攻科生(生産システム工学専攻)13名の計142名の学生が入学しました。

今年度も昨年度と同様に入学生、在校生総代、保護者及び教職員のみでの出席とし、新型コロナウイルス感染予防対策をとった上で式典を挙行しました。式ではまず、入学許可が行われ、本科入学生及び専攻科入学生による入学宣誓がありました。その後、石田校長から「日々の学校生活において、寮生活もさることながら、課外活動が人間力形成にとって非常に有用です。そのためにも、クラブ活動や各種行事に積極的に参加し、大いに楽しみながら、学科や学

年にとらわれず多くの友人を作ってください。高専時代にできた友人は、一生の宝物になるはずです。そして充実した高専生活を送ってください。」と式辞がありました。入学生たちは、保護者に見守られながら、希望を胸に新たな生活が始まりました。



令和4年度専攻科 (海上輸送システム工学専攻) 入学式

10月3日(月)午前10時30分から、本校第一会議室において、専攻科(海上輸送システム工学専攻)入学式を挙行し、3名の学生が入学しました。

式では、入学生による宣誓が行われ、その後、校長から、「皆さんが身につけなければならない能力には、海運業界のデジタル化に対応できる高度な工学的センスが必要不可欠になるということです。その点、皆さんが恵まれているのは、本校には工学系の学科があり、生産システム工学専攻もあり、デジタル化に対応できる工学的センスを磨く環境が整っていることです。是非、こうした教育環境を有効に利用してください」と式辞がありました。

専攻科入学生は慣れ親しんだ学び舎で心機一転、新たな学生生活が始まりました。



新任教員の紹介



情報工学科 准教授

榎本 浩義

2022年4月1日付で情報工学科に着任しました、榎本 浩義（えのもと ひろよし）です。どうぞ

よろしくお願いいたします。出身は兵庫県で、学生時代は大阪に通い、就職してからは広島にきました。現在は、平日は弓削島にいて、週末は広島県東広島市の自宅で過ごすことが多いです。

これまで企業において一貫してシステムエンジニアとして実務を行ってきましたが、もともと教育に興味があり、社内で教育システムの開発に取り組んだ経験もあります。その経験などから、教育についてより深く学びたいと考えて、仕事をしながら社会人ドクターとして、広島大学大学院に入学し、教育工学の研究に取り組みました。このたびは、実務を通して得た経験と技術、もともと持っていた教育への関心、そして大学院での研究過程で得た視野と知見を活かす場として、本校を志望しました。高専は実践的技術者を養成

する高等教育機関とされ、本校では、単なる知識獲得のための教育ではなく、将来就く仕事に直接つながるような、実務を指向した教育が行われていると理解しています。このような実務を目指した教育こそが私が取り組みたい教育です。

今までの経験から皆さんにお伝えしたいことは、学習し続けることが重要であること、学習は一人では難しいこと、高専には学習に役立つ環境が揃っていることです。高専卒業後は、就職や進学といった進路を選ぶことになりますが、いずれにしても本当に学習が必要になるのは社会に出てからとなります。そのためにも、在学中に自分の学習方法を確立してほしいと思います。といっても学習は難しいもので、一人で進められる人は多くありませんが、高専には教職員がいて、一緒に学ぶ友人もいます。各種設備もあって、学習に役立つ環境が揃っています。不明な点がありましたら、先生方に質問したり、友人と協力して解決したりしながら、自分の学習を進める力を身につけていきましょう。そのための支援ができればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度 前期級長・副級長・学級担任一覧

学 科	学年	級 長	副 級 長	担 任
商船学科	5年	内 田 楽	岩 部 悠 紀	湯 田 紀 男
電子機械工学科	5年	古 賀 悠 大	河 本 幸 樹	福 田 英 次
情報工学科	5年	山 内 七 聖	井 上 繕	柊 田 温 子
商船学科	4年	山 崎 希 海	片 岡 平	秋 葉 貞 洋
電子機械工学科	4年	上 野 智 貴	清 原 綾 悟	瀬 濤 喜 信
情報工学科	4年	長 畑 桜 弥	渡 邊 廉汰郎	峯 脇 さやか
商船学科	3年	田 中 夢 叶	阪 下 裕 成	池 田 真 吾
電子機械工学科	3年	岡 野 正 俊	中 宮 健 吾	ダワア ガンバット
情報工学科	3年	旗 手 康 太	岡 田 凜	前 田 弘 文
商船学科	2年	岡 田 楓 斗	古 田 真 也	要 弥由美
電子機械工学科	2年	中 野 龍 斗	清 水 大 樹	牧 山 隆 洋
情報工学科	2年	徳 岡 桜	東 谷 京 佳	伊 藤 武 志
商船学科	1年	海老原 聡太郎	庄 司 宗太郎	佐久間 一行
電子機械工学科	1年	坂 内 恒 介	村 上 雅 典	藤 井 清 治
情報工学科	1年	後 藤 大 知	田 房 蓮一郎	八 原 瑠 里

学生会よりごあいさつ

学生会より本年度のあいさつを申し上げます。
私たち前期学生会役員は会長、副会長2名、会計長1名、会計監査長1名、書記長1名の全6名で構成されています。今期の学生会の目標である「学生みんなが笑顔で楽しく過ごせる学校にする」のもと、前期の学校行事などの企画運営や校内美化活動といった学生が楽しんで元気よく過ごせる校内環境作りに努めてまいりました。

前期の主な学校行事として、校内球技大会、2校定期戦などがありました。球技大会では、教職員協力のもと、学生の皆さんがしっかりと注意してくれたおかげで、怪我無く終えることができました。また、未だに感染が収束しない新型コロナウイルスの感染対策についても、学生の皆さんが、教職員の指示に従うだけでなく、自らしっかりと感染対策を行ってくれたおかげで、円滑に学校行事を進めることができました。

その他にも部活動の活動費の見直しや学生の身だしなみの強化に努めました。部活動の活動費の見直しでは、大会等の実績に基づき、しっかりと活動している部活にはそれに見合った活動費を配分しました。身だしなみ強化では、見回りや各ク

ラスへのアンケートを実施、学生同士身だしなみに乱れがないか確認し合うなど、教員と協力して改善に取り組みしました。

後期は学生会の役員が交代し、新たなメンバーで学校行事を運営していきます。後期の学生会には、前期のコロナ対策の流れを引き継いでもらい、学生が安全で笑顔で楽しい学校生活を送り、今後の活動にも取り組めるよう、頑張ってもらいます。学生会としては、本年をコロナ収束へ向けての大きな一年とするため、そして従来の弓削商船高専での学校生活が送れるようにするため、チーム弓削商船の意識はもちろん、上島町の人々と手を取り合い、心を込めて活動させていただきます。

最後になりましたが、教職員ならびに学生の皆さんのご協力のおかげで大きなトラブルなく学生会を運営することができました。ご協力ありがとうございました。今後の本校のさらなる発展と躍進を願い、学生会からのごあいさつとさせていただきます。

学生会一同

クラブ活動成績

令和4年2月～令和4年10月

部活動名	大会名	競技	成績	クラス	氏名 (個人の場合)	場所	日程
陸上競技部	令和4年度 愛媛県高等学校 総合体育大会	女子走幅跳	第3位	I 3	田房 真歩	愛媛県総合運動公園 陸上競技場	6月4日(土) ～6日(月)
		女子三段跳	第4位	I 3	田房 真歩		
剣道部		男子団体	3回戦敗退			愛媛県武道館剣道場	6月4日(土) 5日(日)
アーチェリー		男子個人	第3位	S 1	村上 銀亮	今治市菊間町 あばらこアーチェリー場	6月5日(日)
陸上競技部	令和4年度 四国高等学校 総合体育大会	女子走幅跳	出場	I 3	田房 真歩	徳島県鳴門総合運動公園 陸上競技場	6月18日(土) ～20日(月)
		女子三段跳	第7位	I 3	田房 真歩		
アーチェリー		男子個人	第5位	S 1	村上 銀亮	三木町農村運動広場 (香川県木田郡三木町)	6月18日(土) 19日(日)
アーチェリー	令和4年度 全国高等学校総合体育大会	男子個人	出場	S 1	村上 銀亮	Pikaraスタジアム (香川県立丸亀競技場)	8月9日(火) 10日(水)
陸上競技部	第59回 四国地区 高等専門学校 体育大会	男子400m	優勝	S 4	栗田 将渡	西条市ひうち陸上競技場	7月16日(土) 17日(日)
		男子5000m	優勝	M 5	住田 凌真		
		男子110mH	優勝	I 3	小林 大聖		
		男子走幅跳	優勝	M 4	藤原 翔一		
		男子三段跳	優勝	M 4	藤原 翔一		
		女子100m	優勝	I 3	田房 真歩		
		女子走幅跳	優勝	I 3	田房 真歩		

陸上競技部	第59回 四国地区 高等専門学校 体育大会	男子100m	第2位	M 4	藤原 翔一	西条市ひうち陸上競技場	7月16日(土) 17日(日)	
		男子800m	第3位	S 4	栗田 将渡			
		女子800m	第3位	S 1	水野さくら			
		女子砲丸投	第3位	S 1	水野さくら			
		4×400mR	第2位	S 5 M 5 S 4 M 4	仁井田康一朗 住田 凌真 栗田 将渡 藤原 翔一			
卓球部		女子個人 ダブルス	第3位	I 1 I 1	菅原 小鈴 岡田 凜	今治市営中央体育館	7月8日(金) ～10日(日)	
サッカー部		サッカー競技	第3位			特定非営利活動(NPO)法人 徳島スポーツビレッジ	7月1日(金) ～3日(日)	
バスケットボール 部		男子	準優勝			善通寺市民体育館 (香川県善通寺市)	7月2日(土) 3日(日)	
		女子	準優勝					
剣道部		男子団体の部	優 勝			愛媛県武道館剣道場	7月9日(土) 10日(日)	
		女子団体の部	優 勝					
		男子個人の部	準優勝	S 2	千田 脩			
			第3位	S 4	魚 義盛			
		女子個人の部	準優勝	I 5	田房 希歩			
第3位			S 2	竹村 心				
野球部		硬式野球競技	準優勝			新居浜市営野球場	7月8日(金) ～10日(日)	
テニス部		個人戦 女子ダブルス	優 勝	I 5 I 5	村上しずく 山内 七聖	香川県総合運動公園 テニス場	7月8日(金) ～10日(日)	
弓道部	第9回 全国高等専門学校 弓道大会中四国予選	女子個人	優 勝	I 3	宇田 弥央	瀬戸田垂水温泉弓道場 ※通信大会	7月9日(土) 10日(日)	
		男子個人	第4位	S 2	八木 優斗			
3Dデザイン同好 会	2022 Ene-1 SUZUKA Challenge KV-Moto		第3位 (大学、高専、 専門学校部門) 第7位(総合)	M 4 M 4 M 4	三島 佑介 山崎 祐輔 松田 隼	鈴鹿サーキット レーシングコース (三重県鈴鹿市)	7月9日(土)	
マイコン部	第16回 アジア太平洋 情報オリンピック		銀メダル (第23位) (※第3位(日本))	I 3	甲賀悠一郎	※オンライン	5月28日(土) 29日(日)	
陸上競技部	第57回 全国高等専門学校 体育大会	女子走幅跳	第2位	I 3	田房 真歩	愛媛県総合運動公園 陸上競技場 (ニンジニアスタジアム)	8月20日(土) 21日(日)	
		女子やり投	第5位	S 1	水野さくら			
		男子三段跳	第8位	M 4	藤原 翔一			
剣道部		女子団体の部	優 勝	I 5 S 2 I 1	田房 希歩 竹村 心 藤原 歩華	とくぎントモニアリーナ (徳島市立体育館)	8月25日(木) 26日(金)	
		男子個人の部	第3位	S 2	千田 脩			
テニス部		個人戦 女子ダブルス	優 勝	I 5 I 5	村上しずく 山内 七聖	大神子病院しあわせの里 テニスセンター (徳島県徳島市)	8月24日(水) ～26日(金)	
		女子団体戦 (オープン※四国 高専チームのメン バーとして出場)	優 勝	I 5 I 5 I 5	村上しずく 村上ヒカリ 山内 七聖			
アーチェリー		第77回 国民体育大会 愛媛県選考会	少年男子	3位：1次予選 3位：2次予選 3位：3次予選	S 1	村上 銀亮	今治市桜井スポーツランド	5月1日(日)：1次予選 6月12日(日)：2次予選 7月3日(日)：3次予選
ヨット部			セーリング競技 少年男子420級	優 勝	S 3 M 1	吉岡 和月 柳崎 稔貴	新居浜マリーナ	7月9日(土) 10日(日)
アーチェリー	国民体育大会 第43回 四国ブロック大会	少年男子	優 勝	S 1	村上 銀亮	高知県立春野総合運動公園 補助競技場	8月20日(土) 21日(日)	
アーチェリー	第77回国民体育大会 (いちご一会 とちぎ国体)	少年男子	出 場	S 1	村上 銀亮	那須烏山市緑地運動公園 多目的競技場 (栃木県那須烏山市)	10月8日(土) ～10日(月)	
ヨット部		セーリング競技 少年男子420級	出 場	S 3 M 1	吉岡 和月 柳崎 稔貴	稲毛ヨットハーバー (千葉県千葉市)	10月2日(日) ～5日(水)	

学 生 体 験 談



アーチェリー

アーチェリーとは、70メートル先にある直径122センチの的を射るスポーツです。高い集中力と、どんなときでも平常心を保つという精神力が必要で、筋力だけではなくメンタルの強さも必要です。ただ弓を引いて矢を射るだけではなく、顔の向きや、力の入れ具合なども意識しています。少しの体のブレが70メートル先の的では大きなズレにつながるの、毎回同じ動きができるよう、呼吸を一定に保ったり、自分がいまどのような動きをしているのかを確認したりしながら矢を射っています。

総合体育大会では、愛媛県の個人代表に選出され、四国総体、インターハイへの出場資格を獲得しました。インターハイでは良い結果を出すことができませんでしたが、四国総体では5位になることができました。国民体育大会でも、愛媛県代表に選出され、四国ブロック予選では優勝し、四国代表として出場することができました。新人体育大会でも愛媛県で2位になりました。1位を目指していたので悔しい思いはありますが、この経験を活かして次の試合に活かしたいと思います。

弓削商船高等専門学校にはこれまでアーチェリー部はなく、設備がないため、練習は週末家に帰ってしています。他の選手と比べると練習量はかなり少ないの

商船学科 1年 村上 銀亮

で、質の良い練習ができるように心がけています。それを支えてくださる家族や、コーチや、教員には、とても感謝しています。

今後の目標は、勉学と両立しながらアーチェリーを続け、オリンピックに出場することです。大きすぎる夢だと思われると思いますが、“Where there is a will, there is a way”というように、どんな困難な道でも、それをやり遂げる意思さえあれば必ず道は開けるという言葉信じて、今後も頑張りたいと思います。



バスケットボール部

私たち弓削商船高等専門学校バスケットボール部は、7月に開催された四国地区高専大会で惜しくも香川高専高松キャンパスに68-74で敗れました。ですが、全国高専大会の主催校だったため私たちも全国高専大会に出場できることとなりました。

全国高専大会では、松江高専に51-87で敗れ、豊田高専に58-73で敗れました。私たちは昨年準優勝とい

電子機械工学科 5年 井上 裕太

う苦い思いがあったので今年こそは優勝すると意気込んで練習に取り組んでいましたが、昨年より苦い結果となりました。

来年こそは悲願の全国優勝を達成できるよう練習に取り組んでいくので暖かいご声援を後輩たちにかけていただければと思います。



学 生 体 験 談

電子機械工学科 4年 藤原 翔一



陸上競技部

私たち陸上競技部は、全国高専大会での入賞や総合体育大会での上位大会の進出を果たすために、自己ベスト更新・愛媛県選手権の標準記録突破を目標に活動しています。

令和4年度の主な活動成績は、全国高専大会 男子三段跳 第8位、女子走幅跳 第2位、女子やり投げ 第5位、四国総体 女子三段跳 第7位、愛媛県総体 女子走幅跳 第3位と惜しくもインターハイには届きませんでしたが、高校総体や高専大会でも成績を残しています。

今年度の全国高専大会は、弓削商船高等専門学校が開催校でした。コロナ禍での開催にあたり多くの方々に協力していただいたおかげで、令和元年度同様に全国区の高専生がフィールドに集まり開・閉会式をすることができました。本校の選手達は、地元開催の声援

を力にベストを尽くし競技に挑むことができ、前記成績に挙げた3名の入賞を果たすことができました。今回開催校陸上部のキャプテンの立場になり、改めて普段どれだけ周りの方々に支えられているかを実感しました。この経験をもとに来年度は、より良いパフォーマンスが発揮できるように精進していきたいと思います。



剣道部

「剣道」で得た大切なこと～全国高専大会優勝までの道のり

情報工学科 5年 田房 希歩

「全国高専大会優勝」を目標に5年間剣道を続けてきました。令和元年度全国高専大会、男子団体の部は惜しくも準優勝で終わってしまいました。優勝するために辛い稽古を乗り越え、どれだけしんどくても仲間や後輩に対して声かけを欠かさなかった先輩達を見てきました。それでも手に入らなかった「優勝」。次は私達が舞台に立って、リベンジを果たしてやるという思いが一層強くなりました。しかし、自分達が最高学年になった時、それがいかに難しいことか改めて思い知らされました。

最後の高専大会、5年生は最後の大会で絶対に優勝したいという思いが強い一方で後輩達と気持ちがすれ違ってしまい、地区大会間近でも一人一人が別の方向を向いてチームが1つになれませんでした。どうすればいいのか考えても答えは出ず、卒業した先輩方に悩みを打ち明けました。すると、先輩方全員がアドバイスや応援のメッセージを送って下さり、その中でも、「勝ちたい気持ちよりも後輩に嫌われたくないという気持ちの方が強いのではないですか？」という言葉に核心を突かれました。先輩達は稽古を休んだり、声が出てなかったりすると同級生でも厳しく注意していました。それでも、部員全員が先輩達の思いを理解し、

必死に稽古に取り組んでいました。対して、自分達は後輩がサボっても、声を出していなくても、軽く注意するだけで悪い雰囲気にならされていました。みんなが自分達から離れていくのが怖いから。嫌われたくないから。そんな私達に後輩がついてきてくれるはずがないと気付かされました。その後、私達の本音を改めて部員に話し、少しずつチームを立て直していきました。そして、四国地区高専大会を勝ち上がり、全国高専大会では女子団体で優勝することができました。優勝した時、「チームって素晴らしいな。」と思いました。この優勝は弓削商船高等専門学校剣道部に関わる全ての人達の力で手に入れた優勝です。私達を指導してくれた顧問やコーチ、支えてくれた卒業生や保護者、私達についてくれた後輩、そして今まで一緒に戦ってきた同級生。全員の思いが1つになったからこそ実現したものです。私1人では決して叶えられない目標でした。本当にありがとうございます。私は剣道部に入学したことで、多くの素敵な人達に恵まれ、素晴らしい経験をし、たくさんの事を与えてもらいました。この繋がりを大切にし、次は私が与える側となって剣道部を全力で応援していきます。

これからもどうぞ弓削商船高等専門学校剣道部の応援をよろしくお願いします。

留学生紹介

情報工学科 3年 チャルンキット タナーシン



はじめまして、わたしの名前はチャルンキット タナーシンです。今年で二十歳になりました。出身地は東南アジアのラオスの首都ビエンチャンです。

私は高校を卒業して、ラオスの大学に進学しました。大学在学中に、日本の文部科学省から奨学金をもらい、日本に留学することが決定しました。しかし、新型コロナウイルスの影響で、来日が2ヶ月半に遅れ、その期間はオンライン授業を受けました。自宅で授業を受け、外出ができないので、本当に寂しい思いをしました。その後、来日の日程が決定し、日本での留学生活が始まりました。

最初の1年間は東京で日本語を勉強しました。努力が不十分なため、いい成績が取れなかったので、進学することは無理だと思いま

した。しかし、セカンドチャンスのおかげで、日本語学校を修了することができました。

高専の生活は短い期間ですが、多くのことを経験したいと思っています。授業の勉強だけでなく、資格試験、課外活動、大学編入など、やりたいことを考えてみました。進学するためには、授業で勉強した基本的な知識が重要です。その知識を高めるために、いろいろな検定試験や国家試験などを挑戦したいと思います。また、長期休暇には趣味の旅行にでかけ、日本の美味しい食べ物を食べ歩いたりしたいです。計画的にしないと、無理だと思い、3年間の計画を立ててみました。3年間では足りないぐらい、スケジュールがいっぱいになりました。計画どおりにできないかも知れませんが、楽しい3年間にしたいと思います。

国立モンゴル科学技術大学での 海外インターンシップ・国際交流

9月4日(日)～9月17日(土)、モンゴルウランバートル市にある国立モンゴル科学技術大学・動力工学校 (Mongolian University of Science and Technology, School of Power Engineering)、国立モンゴル科学技術大学・交通機械工学校 (Mongolian University of Science and Technology, School of Mechanical Engineering and Transportation) で、本校の学生5名(電子機械工学科5年生1名・4年生2名、情報工学科5年生2名)が、海外インターンシップ・国際交流訪問を行いました。学生達は、インターンシッ

プの研究テーマである「ウランバートルの大気中の粒子状物質の濃度の測定」や「自動車エンジンの排気ガスの測定」実験などを行いました。また、モンゴルの民族歴史博物館、チンギスハーン像テーマパークなどを見学しました。



チャレンジキャンパス2022

8月6日(土)、子どもたちに楽しい体験を通じて科学技術の素晴らしさ・楽しさ・夢を伝え、科学に対する興味や関心を持ってもらおうと「チャレンジキャンパス2022」を開催しました。

当日は事前申込みをした、約120名の小学生・中学生・保護者の方が来場し賑わいました。「航海術を学んでお宝をさがそう!」、「機械に欠かせない歯車をつくって学ぼう!」、「マイクロビットで始めるプログラミング学習」など、本校の教員による趣向を凝らした14の講座の中から、好きな講座を受講し、3つ以上受講した参加者には「弓削商船かがくはかせ号」として缶バッジと証明書が贈られました。



令和4年度オープンキャンパス

○第1回

7月23日(土)・24日(日)の2日間で、233組、中学生・保護者等を含め605名の方に参加いただきました。

本オープンキャンパスは、午前・午後の2部制で実施しました。第二体育館で全体説明会を行った後、学科イベントを行い、その後は希望者向けに進路相談会や学寮見学、練習船弓削丸の船内見学を実施しました。

参加者のみなさまからは、「学生の意識の高さ、プレゼン能力の高さに驚いた。」「自分のしたいことをじっくり考えるのがいいと思った。」「学校全体の雰囲気がとてもよくて、楽しい時間を過ごせた。」といった感想をいただきました。

○第2回(リモート開催)

9月4日(日)の午前と午後に、計2回の配信を行い、約92名(延べ視聴者数)の方が参加されました。当日は、全体説明ビデオ及び学生による本校の紹介ビデオの配信、各学科や本校の特徴・魅力についての説明、チャットに寄せられた質問への回答を行いました。チャットには、多くの質問が寄せられ、参加された方の本校への関心の高さが伺えました。



第1回オープンキャンパス 情報工学科イベントの様子

S 5 乗船実習 (JMETS)

商船学科 5年 実習生 航海コース 佐藤 沙耶香

私は、4月1日から9月10日まで約半年間銀河丸と青雲丸で実習をさせていただきました。

今回の実習でも、新型コロナウイルスの猛威により外泊や従来は朝から晩まであった自由な上陸（総員上陸）がなく、その上、一時は実習中断ということもあり多くのことが制限されていましたが、その中で半日程度ある運動上陸や買い物上陸などのリフレッシュをしながら仲間と共に乗船実習を乗り切ることができました。

その中でも大変だったのは、当直中の操舵の判断でした。4年生までの実習では、実習生二人のペアで考えたり、当直航海士が操船方法を提案してくださっていたりしていましたが、最後の実習となると、自分で考え、それを当直航海士に確認して操舵号令しなくてはなりません。いざ一人で前に立って操船するときには、最善の避航動作をとらなければならない、迷っていると他の船舶との距離も近くなり、徐々に衝突のリスクも上がり時間を追うにつれて緊張しました。そのため、短時間で最善の指示をすることが実習の中で最も大変でした。これを出来るだけ早くこなせるよう

に、周りの船舶の状態を見て、視野を広げて当直をすることが重要だということが改めて実感しました。就職して航海士として乗船するには、備え付けておかなければならないスキルだと思います。就職すると操船は荷物を運ぶための手段なので、今まで練習船で主に習ってきた操船よりも就職した船の貨物に関することについて考える比率が増えることかと思います。

就職しても時間があるときには登橋し、一人で航海当直に入っても最善な判断ができるようスキルに磨きをかけていきたいです。

実習を終え、まだ未熟な部分もありますが、「スマートで目先が利いて几帳面、負けじ魂」を目指し、就職して辛いことがあっても、一年仲間と共に実習した思い出を思い出し、鍛錬していきます。



運動上陸 隠岐・摩天崖で放牧されている馬



鹿児島寄港 夏の桜島

S 5 乗船実習 (JMETS)



商船学科 5年 実習生 機関コース 藤江 那由多

4月1日から9月10日までの実習を終え、合計1年間の乗船実習を無事終了することができました。1年という長い期間でしたが、振り返ってみると充実した日々で、あっという間に終わったという印象でした。今回の実習は4000マイルの遠洋航海を含む約6か月に及ぶものでした。具体的には、主機のピストンを抜く実習や、実際の航行中にブラックアウトをさせる実習をはじめ座学では決して学ぶことができないリアルな経験をすることができました。日々の実習をこなしていくうちに、新しい知識や技術を得ることができ、確かな成長を感じることができました。

遠洋航海は、例年シンガポールに行っていました、残念ながら新型コロナウイルスの影響により行くことができませんでした。南鳥島や小笠原諸島などの太平洋の島を経由して4000マイルの航海となりました。遠洋航海中は3直制（0～4時、4～8時、8時～12時の当直）となり、生活が不規則になり慣れない部分もありましたが、当直中は実際に船で行われている業務を経験できる機会となり、多くのことを学びました。

また、南鳥島の近くに行ったり、太平洋に浮かぶ島々の景色を見たり、この練習船でしか経験できないことがたくさんありました。

最後の6か月の実習は、大変なこともたくさんありました。乗船した直後に新型コロナウイルス陽性者が確認され、実習中断を余儀なくされました。実習が再開された後は一切の上陸が禁止となったため、入港しても船の中で過ごさねばならず、辛いと感じたときもありました。それでも私が実習を乗り越えられたのは、仲間と支えあえたためです。これから実習に臨む後輩にも、仲間を大切にして苦難を乗り越えてほしいと思います。

合計1年間の乗船実習を通して、私は船上での実務的な技術や自発的に物事に取り組む姿勢、コミュニケーションの大切さなど多くのことを学び、身に着けることができました。この実習で学んだことをこれからの社会人生活に活かしていきたいと思います。

令和4年度商船学科卒業式

9月23日(金)、令和4年度商船学科卒業式を挙行し、卒業生27名が学び舎を後にしました。

石田校長から「海技教育機構の大型練習船実習を終えられ、知識と技能だけでなく、これから社会人として歩いていく上で最も重要な高い人間力を身につけてこられたものと思います。ぜひ、その貴重な経験を忘れることなく、これからも自己研鑽に精進してください。皆さんは弓削商船高専で学んだこと、そして、この地で学生生活を送れたことに大いに誇りを持ってください」と式辞が述べられ、卒業生は引き締まった

表情で聞き入っていました。

続いて、在校生総代の電子機械工学科4年・上野智貴さんが送辞を述べた後、卒業生総代の江口喬子さんによる答辞が行われました。

最後に、卒業生一同が登壇礼（とうしょうれい）を実施し、「ごきげんようー！（表紙写真）」の掛け声とともに、全員の制帽が美しく宙を舞いました。

卒業生たちは弓削商船高専の卒業生としての誇りと使命を胸に、新しい人生行路へと出航しました。

令和4年度商船学科卒業生 各賞受賞者一覧

■体育功労賞

氏 名	所属クラブ	活 動 成 績
尾 崎 瑛 太	ラグビーフット ボール部	平成29年度 四国地区高等専門学校体育大会 優勝 (全国高等専門学校体育大会出場)
		平成30年度 四国地区高等専門学校体育大会 優勝 (全国高等専門学校体育大会出場)
		令和3年度 四国地区高等専門学校体育大会 優勝
村 上 小 季	ラグビーフット ボール部	平成29年度 四国地区高等専門学校体育大会 優勝 (全国高等専門学校体育大会出場)
		平成30年度 四国地区高等専門学校体育大会 優勝 (全国高等専門学校体育大会出場)
		令和3年度 四国地区高等専門学校体育大会 優勝

褒 章 名	航海コース		機関コース	
特別精励賞			村 上 小 季	
全日本船舶職員協会賞	和 田 一 輝		田 中 恭 平	
同窓会会長賞	横 田 智 拓		藤 江 那由多	
海技教育財団会長賞	佐 藤 沙耶香		高 橋 恵	
日本船舶海洋工学会奨学褒賞	尾 崎 瑛 太		村 上 小 季	
日本航海学会奨学褒賞	江 口 喬 子			
日本マリンエンジニアリング学会 優秀学生奨励賞「山下勇賞」			川 崎 宇 庸	
精励賞	石 井 照 大	佐 藤 沙耶香	井 上 伸	藤 江 那由多
	伊 藤 耀	横 田 智 拓	川 崎 宇 庸	
	江 口 喬 子	和 田 一 輝	高 橋 恵	
	尾 崎 瑛 太		二 宮 一 輝	

令和4年度商船学科卒業生 就職先一覧

(50音順)

上野トランステック株式会社	宇部興産海運株式会社	宇和島運輸株式会社
オーシャントランス株式会社	鹿児島船舶株式会社	加藤汽船株式会社
株式会社大盛産業	川近シッピングマネジメント株式会社	川崎近海汽船株式会社
春風海運株式会社	新日本海フェリー株式会社	第一中央内航株式会社
太洋産業貿易株式会社	津軽海峡フェリー株式会社	東慶海運株式会社
日本海洋事業株式会社	ファーストマリンサービス株式会社	明治海運株式会社
ヤンマーエンジニアリング株式会社		

令和4年度商船学科卒業生 進学先一覧

弓削商船高等専門学校 専攻科		
----------------	--	--

尾道Cool Choiceプロジェクト「海事教室」を実施

尾道Cool Choiceプロジェクト推進事業の中で、本校教職員を講師として「海事教室」を実施しました。本イベントは尾道市環境政策課と連携して企画立案したイベントで、本校の特色である「海・船」をテーマに、尾道市内の小学生を対象にした海事社会・海洋環境の啓蒙活動です。9月14日(水)は尾道市立因北小学校48名と尾道市立西藤小学校30名、9月15日(木)は尾道市立因島南小学校48名の児童が参加しました。

「環境学習」では、水中ドローンを用いた尾道水道の海底観察、マイクロプラスチックに関する講義とマイクロプラスチックを用いた万華鏡作成を行いました。また、「体験学習」では、弓削丸体験航海とロープワークを実施しました。本校の特色を活かしたうえで、小学生に

も分かりやすい環境学習と体験学習を実施し、イベント内容が中国新聞や尾道新聞、ちゅピCOMおのみちに取り上げられ、近隣の人に広く知らせることができました。

上島町のお隣に位置する尾道港は、古くから海上交通の要所として発展し、令和元年に尾道港開港850年を迎えました。海事都市で生活する児童にとって、海や船は身近にあり、生活の中で船を利用することが多いが、船乗り＝漁船・渡船のイメージが強く、参加した児童の感想文には、「船による物の輸送は、自分たちの生活に欠かすことができないと初めて知りました」という意見が多数ありました。本イベントは尾道市全域の小学校を対象に参加校を募っており、今後も継続して海事・海洋の啓蒙活動を続ける必要があると思いました。



水中ドローンを用いた尾道水道の海底観察



ロープワーク



マイクロプラスチックを用いた万華鏡作成



弓削丸体験航海（操船体験）

今治市地場産業ものづくり体験講座を実施

今治市地場産業ものづくり体験講座・キャリア教育の中で、本校教職員を講師として「弓削丸体験航海と体験授業」を実施しました。ものづくり体験講座とは、今治市内中学生に地域のものづくり産業に対する理解を深めてもらい、次世代の地域産業を担う人材の育成と定着を図ることを目的に、企業や教育・研究機関の関係者による講座、弓削丸体験航海、工場見学等、ものづくりに関する一連の仕組みを系統立てて学習するプログラムです。体験講座を通じて、中学生自身が働くことをイメージして進路選択を考え、海や船についての関心と理解を深めることを目的に実施しました。

今治市立伯方中学校2年生41名の生徒を対象に、商船学科は「弓削丸体験航海」と「わたし達の生活と船に関する講義」、電子機械工学科は「セグウェイ体験」と「セグウェイに使われている技術の体験」、情報工学科は「プログラ

ミング授業：マイコン（マイクロビット）の制御体験」を行いました。

参加した伯方中学校の生徒からは、「船の仕事はとてめがかっこよく、日本を支えるために凄くやりがいを感じられる職業だということがよく分かりました」、「セグウェイ体験がとても楽しく、最新の技術に触れてとても興味がわいた」、「プログラミングはとても難しかったけど、最後までできて嬉しかった」などの意見がありました。

この体験講座は今治市内の中学校に参加希望を募り、地域企業と教育機関と連携してのものづくり産業への理解を深めるイベントです。今後も継続して体験講座を行い、今治市内の中学生たちに海事社会の裾野を広げ、日本のものづくり産業や暮らしを支える海事産業について理解を深めてもらいたいです。



わたし達の生活と船に関する講義



セグウェイ体験



弓削丸体験航海（操船体験）



プログラミング授業

各種資格試験合格者一覧

(令和3年9月～令和4年8月)

(学年は取得時)

◆海技士（航海）1級

江口 喬子（S5）

◆海技士（航海）2級

岡本 忠之（S4）

◆海技士（機関）1級

寺川 明範（S5） 仁井田康一郎（S5）

◆海技士（機関）2級

梅野 悠雅（S5） 室田 立樹（S4）

◆QC検定2級

橋口 香奈（I3）

◆QC検定3級

井上 裕太（I3） 岩本 大輝（I3）

岡田 凜（I3） 岡野 紗羽（I3）

岡野 未央（I3） 小野 龍平（I3）

黒河 天晴（I3） 小林 大聖（I3）

近藤 新（I3） 瀬尾 一智（I3）

箱崎 和寿（I3） 橋口 香奈（I3）

村上 柊太（I3） 村上 侃也（I3）

桃谷 勇汰（I3） 渡邊 和哉（I3）

◆QC検定4級

箱崎 和寿（I3）

◆CGクリエイター検定 ベーシック

岡田 慈英（I3） 川本 零慈（I3）

藤木沙弥華（I3）

◆CGクリエイター検定 エキスパート

荒木 海渡（AP1） 児玉 涼祐（I5）

◆CGエンジニア検定 ベーシック

岡野 紗羽（I3） 近藤 新（I3）

中村 風雅（I3） 東垣 壮真（I3）

◆Webデザイナー検定 ベーシック

山本 琴巳（I4） 角谷 飛鳥（I3）

宗清 珠寧（I3）

◆Webデザイナー検定 エキスパート

藤木沙弥華（I4）

◆画像処理エンジニア検定 ベーシック

田名後蒼獅（I3） 橋口 香奈（I3）

桃谷 勇汰（I3）

◆マルチメディア検定 ベーシック

山本 琴巳（I4） 長畑 桜弥（I3）

◆P検準2級

岡田 慈英（I2） 岡野 未央（I2）

尾崎 陽（I2） 小野 龍平（I2）

川本 零慈（I2） 木村 郁斗（I2）

黒河 天晴（I2） 小林 大聖（I2）

瀬尾 一智（I2） 田房 真歩（I2）

林田 大樹（I2） 村上 柊太（I2）

村上 侃也（I2） 桃谷 勇汰（I2）

八木 郁登（I2）

◆P検3級

尾崎 陽（I1） 田坂 将汰（I1）

西山 香与（I1） 山岡 莉緒（I1）

渡邊 亜紀（I1）

図書館 改修工事中

来年度新しくなって皆様を迎えます！

現在、図書館リニューアルに向け改修工事中です。図書館の開館については令和5年4月を予定しています。

映画鑑賞ができるシアタールームや、ラーニングコモンズで友達やグループでしゃべりながら勉強など、学生の憩いの場を提供し、学びを応援します！

また、同じ建物の中にPC教室や保健室もお引越ししてきます。

来年度、新しい姿になった図書館へぜひお越しください♪

📖 開館時間：平日8時半～18時 休日10時～16時

（夏季休業等の休業期間中は平日8時半～17時まで休日は閉館）

📖 貸 出：貸出期間は2週間 一人10冊まで



各種行事のアルバム



校内体育大会



商船学科3年 救命索発射訓練



電子機械工学科2年 工作実習



情報工学科4年 高井神島海岸清掃ボランティア

弓削商船高等専門学校

学生相談室

学生相談室長
野口 隆

カウンセラー紹介

一人で悩んだり考え込んだりせず、気軽に相談するよう、学生に案内しています。お子さまが困っていそうでしたら、ぜひ学生相談室をお勧めいただき、保護者の方もご利用ください。

曜日	時間	担当
月	12:00~18:00	林 祐太郎 カウンセラー
	15:00~17:00	春田 裕和 学習相談員
火	15:00~19:00	石丸 雅貴 カウンセラー
水	12:00~17:00	坂本 和夫 スクール ソーシャルワーカー
木	13:00~18:00	林 祐太郎 カウンセラー
金	12:00~18:00	石丸 雅貴 カウンセラー

予約方法・場所

「保健室」で予約します。管理棟の2階にあります。場所がわからなかったら保健室で聞いてください。

在学生に関する相談であれば、ご家族からの相談も受け付けています。

問い合わせ先は、保健室0897-77-4621(学生支援係)です。

毎月、学生相談室だよりを発行し、学校ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

相談室ホームページ QRコード

